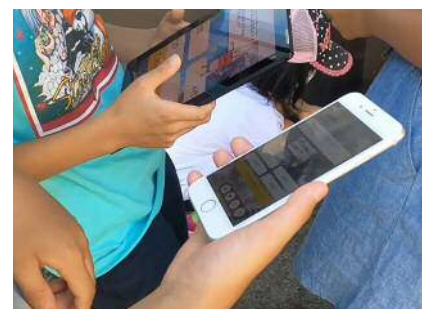


寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	NPO法人スサノオの風
テーマ名	科学技術の振興
事業名	ARで広がる佐田のみらい事業
事業費(うち助成金額)	159,593円(100,000円)
ネーミングライツ(該当があれば)	該当なし



■事業目的

佐田町では、若者をはじめ地元を離れる人が増えています。今回の事業は、ARの技術を用いて佐田独自のコンテンツ“さだモン”を制作する過程で、佐田町の魅力の再発見と、地元を誇りを持ってもらうことを目的とし、また田舎におけるIT分野の可能性を周知するために企画しました。佐田町外から参加した人にも、佐田町の魅力を知ってもらうことを期待し開催しました。

■事業内容

① “さだモン”をつくろう！ワークショップ！(6月20日)

佐田町の10か所に「さだモン出現スポット」を設定し、そのスポットからイメージするキャラクターのイラスト・性格、スポットにまつわる4択クイズの作成を、参加者10名で行いました。また参加者には、リリース前の8月7日に、先行して“さだモン”を体験してもらいました。

② “さだモン”を体験しよう！(8月8日～9月26日)

佐田町の10か所にスポットをめぐり、“さだモン”が出題するクイズに答え、スタンプを集めます。全部集まると、オリジナルグッズや地域で使える金券を進呈し、再び佐田を回遊してもらうきっかけとしました。スマホなどの端末1台につき参加費500円で、期間合計26台の端末と61名の参加者がありました。

■事業成果と今後の展望

1. “ARでスタンプラリーをする”という地域ではまだ珍しい事業を実施したことで、メディアにも取り上げられ、団体の認知度アップにつながりました。
2. 幅広い世代の方に、実際にARスタンプラリーを体験してもらうことで、ITを身近に感じるきっかけとなりました。
3. 佐田町内をスポットに設定し、関連のクイズを出題することで、佐田町への興味関心を持ってもらうことに繋がりました。
4. この事業をきっかけに他地域からARスタンプラリーの依頼もあり、IT分野での佐田町のイメージが向上しました。

今後の展開として、令和4年度は中国建設弘済会『中国地方地域づくり等助成事業』を受託し、8月から10月の間、エリアとキャラクターを拡大し開催する予定です。